

## 全世代型の福祉支援と地域公益的取り組み

社会福祉法人ニライカナイ 法人事務局長 豊村英氏(左)  
地域連携室 室長 玉城恒氏(右)



### 社会福祉法人ニライカナイの紹介

当法人は昭和 63 年に設立認可され南城市大里に障がい者支援施設「鶴生の叢」として開園し 34 年になります。これまで、当法人の基本理念である「障がいがあっても一人の人間としてその人なりに幸せな人生があるべし」を念頭に、地域に根ざしたイベントや日課活動、サービス・支援、人材育成を行いながら相談支援事業・デイサービス(生活介護事業・就労継続(B型・移行)支援事業・放課後等デイサービス事業)グループホーム等々を開所しながら事業展開しています。

平成 23 年には、那覇市小禄を中心にデイサービス(生活介護事業・児童デイサービス)を開所し、現在の「こども発達支援センターのびっと」「生活介護事業はいびす」「就労センター大樹那覇 カフェ hoccoriPon」と事業展開し、乳幼児期(0歳~6歳)~学童期・児童期・青年前期・青年後期(7歳~18歳)の児童全期を保護者様・関係機関・当事業所で協働子育て支援し、卒業後は地域社会への就職・就労継続支援(A型・B型・就労移行)・生活介護事業につなげながら全世代型の福祉サービスの提供や全事業所協働でのイベント開催等を行っています。

### 就労実習・体験等を通して卒業後のイメージ作り

児童デイを利用している児童、支援学校の生徒や地域の方々の実習や体験の受け入れを行い、就労に対する意欲や社会に出る前のマナー・スキルの向上に努め、卒業後や仕事に対するイメージ作りを行っています。地域から相談があり、就労継続 A 型・B 型でつながり徒歩やバス・自家用車で出勤される方も増えています。

- 就労継続 A 型:主に利用者様や職員等の昼食作り、パン・ピザ販売等の接客業務
- 就労継続 B 型:主に施設外就労(アパートなどの清掃)手工芸・外部受注作業など



### 地域公益的取り組み

①毎月、中高生クラス(児童デイサービスのびっと4(男塾))の児童を中心に地域の清掃活動に取り組んでいます。最近では、児童の皆様も率先して準備し、清掃から片付けまでしっかりと行えるようになっています。



②毎週水・土曜日の日課にて「ダンス教室」を行なっています。4年前に結成した「琉球ノビッターズ」は東京パラリンピック関連のイベントや小禄地域のまつりにも出演させていただき地域との交流にもなりました。今後も地域のイベント出演依頼お待ちしております



◀県庁記者クラブでの記者会見の様子「東京パラリンピック開閉会式でのパフォーマンスを目指して琉球ノビッターズを結成!!!」

③不登校(ひきこもり等)支援:保護者様・学校・行政機関等と連携しながらご本人様の安心した居場所作りにつとめ、段階的に支援しながら外出・登校等につなげていきます。

④(動ける「歩ける」)医療的ケア児・保護者様のサポート:医療的ケアが必要ということで保育園(こども園)等での受け入れが難しい(動ける「歩ける」)児童・保護者様のご相談やサポートを充実させ、看護師を配置することで医療的ケアや保護者様へのアドバイスなども行っています。

⑤フードバンク・こども食堂への協力:就労センター大樹那覇 カフェ hoccoriPon では、主にピザやパン・マフィンなどを販売しています。パン等については不定期ではありますが、那覇市社会福祉協議会を通して小禄地域のこども食堂等への提供も行っています。

# なは地域貢献便り 3月

「なは地域貢献便り」は、那覇市内の社会福祉法人等施設が、地域の応援団として取り組む情報誌です。

## 令和3年度のちゅいしいじい事業の活動報告

本事業は令和4年度までの3年間のモデル事業ですが、来る3月3日(木)、17日(木)に開催した第7・8回那覇市社会福祉法人等施設連絡会で、2年間の報告を誌面にてお伝えします。

### 本事業の公益的な取り組み経緯

これまで、主に那覇市社会福祉協議会のCSWの活動を通し、地域見守り隊やふれあいいきいきサロン、地域ふれあいデイサービス、子どもの支援団体をサポートする事業、小学校区単位のまちづくり協議会等の取り組みを通して、幾つかの社会福祉法人等施設の公益的な取り組みが確認できました。令和元年度の社会福祉大会において、「地域共生社会実現における社会福祉法人等の公益的な取り組み」をテーマにシンポジウムを開催しました。その大会を契機に県社協から、同事業の相談があり、社会福祉法人等施設との連携強化の契機と捉え小規模法人のネットワーク構築を目指していくことになりました。

## ちゅいしいじい事業の2年間の活動報告

### 一令和3年度実施事業一

- ①CSWの行政区毎の配置
- ②行政区ごとのプラットフォーム(連絡会)の設置
- ③なは地域貢献便りの発行
- ④市の地域福祉課題に伴う試行的モデル事業調査
- ⑤連絡会構成施設プロジェクト食料支援
- ⑥移動支援サービスモデル事業
- ⑦福祉人材の確保定着のための取組(福祉教育、無料塾、社会福祉士養成実習生受入)
- ⑧災害時個別避難計画策定の重要性を確認



### 活動報告① CSWの行政区毎の配置

那覇市社会福祉協議会では6名のCSWが配置されています。

CSWとは、一言でいうと、「**制度の狭間**」で困っている人を救う仕事といえます。それをちゅいしいじい事業などを活かして社会福祉施設が地域とつながり、狭間を埋めていけるように尽力させていただきます。



生活の困りごとを支援



子ども達と、収穫した芋を高齢者へ届け見守り



住民で見守り隊を結成



関係者と一緒に関後の支援について話し合いを実施・養成講座・つながりマップ作成



## 活動報告② 行政区ごとのプラットフォーム(連絡会)の設置

那覇市は4つの行政区があり、その行政区毎の連絡会を設置しています。首里地区で5法人、本庁地区6法人、真和志地区6法人、小禄地区8法人の計25法人で行政区毎に開催しました。連絡会を通して、本事業の趣旨を踏まえて那覇市の福祉課題に取り組み、地域福祉計画や地域福祉活動計画について共に情報を共有し、施設において地域で求められている課題に意見交換を通して、施設が地域に出来るキーワードをまとめました。

### 2020年 令和2年度

- ・第1回(8月15日)書面による決議【地域貢献便り発行】
- ・第2回(9月14日)首里地区
- ・第3回(9月24日)真和志地区
- ・第4回(9月28日)本庁地区
- ・第5回(12月2日)首里地区
- ・第6回(12月3日)真和志地区
- ・第7回(12月4日)本庁地区
- ・第8回(2月2日)全体会議



連絡会議のゴール各法人施設と社協がつながる。具体的なつながる事例を紹介し、現施設の行う地域貢献の取組み、やってみようことなどの情報を共有する。

地域福祉課題と活動計画の共有、意見交換

試行的事業アンケート報告と事業計画(案)承認

### 2021年 令和3年度

- ・第1回(5月24日)小禄地区
- ・第2回(7月27日)首里・本庁地区
- ・第3回(7月29日)小禄・真和志地区
- ・第4回(7月30日)小禄・真和志地区
- ・第5回(12月16日)小禄・真和志地区
- ・第6回(12月17日)首里・本庁地区
- ・第7回(3月3日)首里・本庁地区
- ・第8回(3月17日)小禄・真和志地区

小禄地区  
連絡会設置

- ①試行的事業の再アンケート報告
- ②フードドライブ運動の継続確認
- ③試行的事業アンケートの市内施設調査の確認



災害時個別避難支援計画の策定について

これまでの活動報告と事業計画の承認

## 活動報告③ なは地域貢献便りの発行

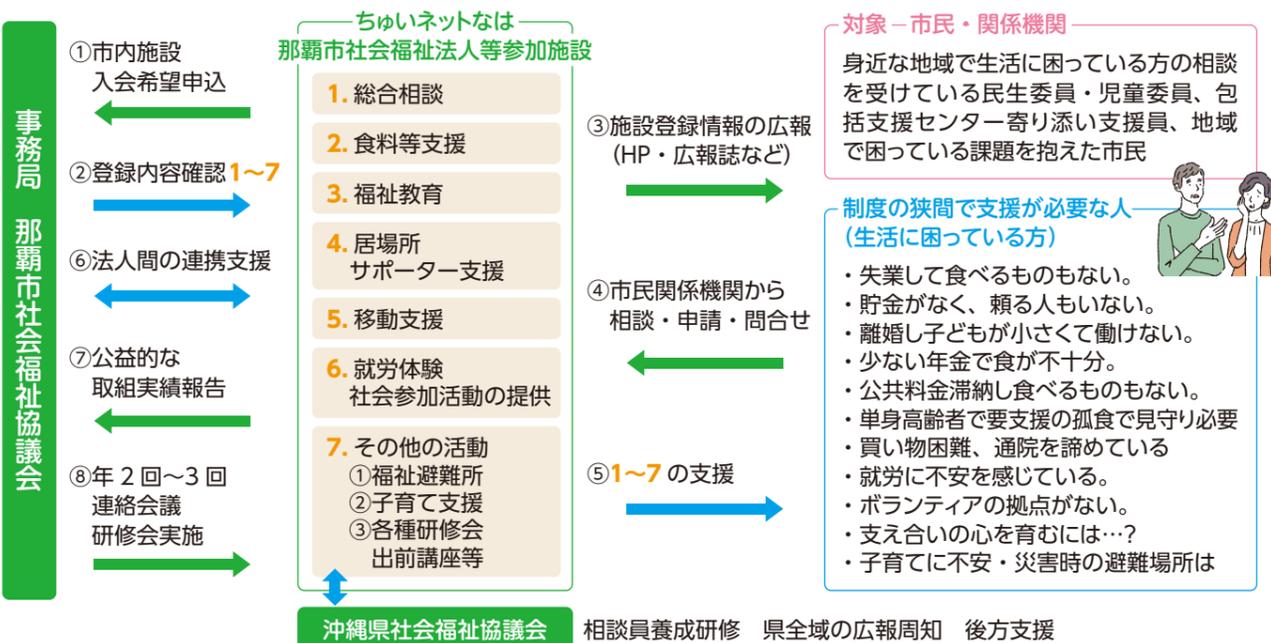
2020(令和2)年度の9月、緊急事態宣言のために、第1回連絡会が書面による決議になりましたが、そのタイミングで9月に「なは地域貢献便り」創刊号を発行し、市内400有余の法人に、連絡会の進捗報告の記事、施設の地域貢献に関する活動紹介(これまで14団体)を掲載し、地域貢献の活動イメージを地域の身近な拠点、相談窓口として広報しました。令和3年3月までは毎月発行、2021(令和3)年度からは年6回6千部(発行数VOL13、地域貢献活動紹介16団体)を発行し周知しています。また、本年度から「社会福祉施設情報なは地域貢献」としホームページを作成しました。



## 活動報告④ 市の地域福祉課題に伴う試行的モデル事業調査

これまでの連絡会での協議内容や参画法人に対するアンケート調査結果を踏まえ、福祉ニーズを7つの活動分野にまとめてみました。この活動分野を複数法人の連携による地域貢献のための協働事業として、各法人の取組事例を分かりやすく見える化して多くの法人の参画を目指していきます。

略して「ちゅいネットなは」とは、困っているときはお互い様の助け合いの輪「ちゅいネットなは」体系図



## 活動報告⑤ 連絡会構成施設プロジェクト食料支援

社会福祉施設等から多くの寄贈を頂きました。皆様から寄贈いただいた物品は、様々な事情を抱えておられる生活困窮者世帯に配布されましたが、9月17日より、コロナによる自宅療養者宅へも届けられました。

2021年度(令和3年3月1日~令和4年3月7日現在) 合計4,064点 19団体

- |                   |                         |                      |
|-------------------|-------------------------|----------------------|
| 1 就労支援サービス株式会社    | 8 からし種の会 アトリエ種子         | 15 ニライカナイ hoccoripon |
| 2 小規模多機能ホーム安岡     | 9 相談支援センターテイクオフ         | 16 ポプラ福祉会ポプラ子ども園     |
| 3 就労支援センターふくぎ     | 10 そてつの会                | 17 株式会社はなたけ          |
| 4 アルプスセンター        | 11 乙羽会グリーンハウス国場         | 18 郵住協福祉会あじや保育園      |
| 5 障害者就労支援センターさわやか | 12 うるま福祉会 玉の子保育園        | 19 わかば認定こども園         |
| 6 沖縄中央福祉会彩風の杜なは   | 13 正清会 久田病院             |                      |
| 7 ゆうなの会           | 14 南部療育医療センター(旧沖縄整肢療護園) |                      |



食糧寄贈 うるま福祉会



食糧寄贈 わかば認定こども園



コロナによる自宅療養者宅への食糧配達



ニライカナイ hoccoripon を子ども食堂へ随時支援

## 活動報告⑥ 移動支援サービスモデル事業

買い物困難者などの送迎を支える移動支援について、那覇市社協が実施する生活支援体制整備事業と連携して、石嶺ハイツ自治会をモデルに取り組みました。

また、生活支援体制整備事業の第一層協議体の移送支援の委員会においても3名が委員として参画しています。モデル事業の送迎は、那覇市社協のデイサービス事業の車両を活用しました。今後は、連絡会以外の近隣の社会福祉施設・事業所も協働で取り組む「おたがいさま移動支援事業」へと発展させていきたいと考えています。



移送支援乗車中



買い物の風景



移送支援 集合写真

## 活動報告⑦ 福祉人材の確保定着のための取組(福祉教育)

お年寄りと接しているときに心がけることは? (同じ目線に視線を合わせて、ゆっくりと丁寧に話す) 福祉の仕事はいつから? (遠く聖徳太子の時代から) 介護のやりがいとは? (関わることで喜んでもらえること) と熱心に聞き入りワークシートをいっぱい埋めていました。



ゆうなの会 事務局次長 金城満氏

明日の未来を担う子どもたちへ向けて小学校区単位で行われる福祉教育・福祉体験活動を法人間の施設講師を派遣し、人材育成の契機としました。

- 令和2年度  
那覇中学校福祉講話 一般社団法人ハーネス本永垂希子氏  
安謝小学校福祉講話 安謝複合施設 課長 備瀬知尊氏
- 令和3年度  
石嶺中学校福祉体験 石嶺まちづくり協議会(葦の会オリブ山病院)  
石嶺中学校福祉講話 大名老人ホームゆうなの会 次長 金城満氏  
泊高校夜間部福祉講話 大名老人ホームゆうなの会 次長 金城満氏
- 課題 学年に応じたカリキュラムの作成とその協議の場

## 活動報告⑧ 災害時福祉避難支援計画について必要性を確認しました

災害発生時に支援を必要とする方々へ地域の自治会や防災組織、民生委員・児童委員、関係機関、隣近所、そして、私たち福祉施設が、地域と連携して助け合う仕組みづくりを確認しました。



## 活動報告⑨ コロナ禍の中、保育現場で働く保育士等の労をねぎらいたい

那覇市法人立私立認可園園長会では、勤労感謝にちなんで在籍する保育士及び職員全員(80園約2000人)に花束とメッセージカードを添えて、ささやかではありますが思いのこもったプレゼントを贈りました。本事業では直接の事業ではないですが、このような活動を応援していきたいと思っています。

